



ほっとするあたたかな光は、木の家ならではのもの。



寝室は天井・床・腰壁に丹波篠山産木材を使用した。



暖かな日を受けるウッドデッキ。

丹波篠山の家モデルハウス概要

所在地

丹波篠山市細工所字南山田 448 番 15
(ハートピア北条団地内)

構造

主要構造 木造 2 階建 (在来工法)

基礎 べた基礎

規模

敷地面積 277.83㎡

建築面積 72.08㎡

延床面積 106.03㎡

1 階 72.08㎡ 2 階 33.95㎡

軒高 5,690mm 最高高さ 7,030mm

敷地条件

都市計画区域 (区域区分非設定)

用途地域 無指定

道路幅員 南 6 m

駐車台数 2 台

事業費

総事業費 3,108 万円 (設計費 127 万円・

建築費 2,688 万円・外構費 154 万円・

工事監理費 139 万円)

事業期間

令和元年度～令和 3 年度

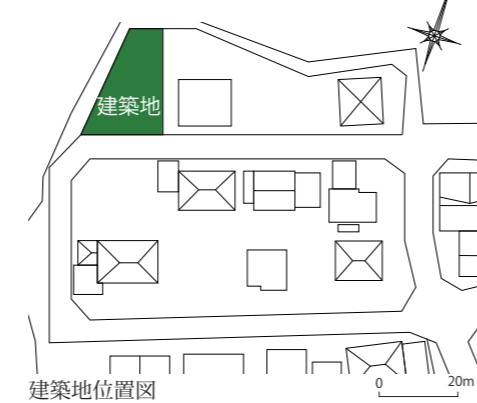
(工事期間 令和 3 年 3 月～ 8 月)

設計・監理

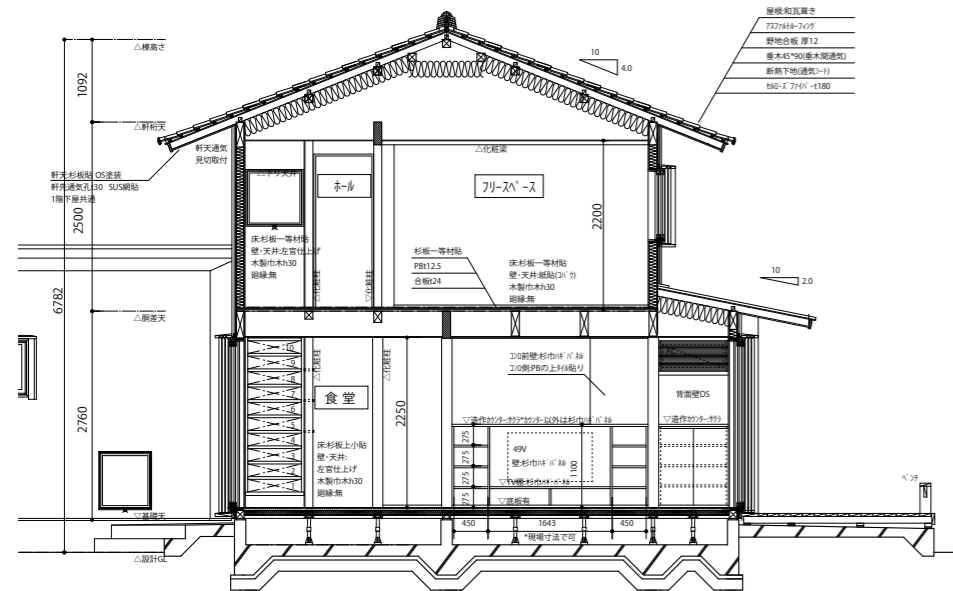
株式会社 一葉建築設計事務所

施工

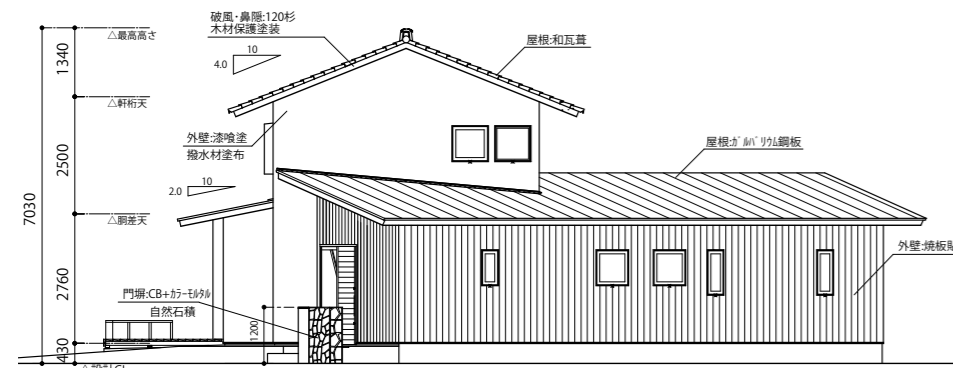
有限会社 クレア



建築地位置図



矩計図 縮尺 1 : 100



立面図 縮尺 1 : 160 南北の開口を爽やかな風が吹き抜ける居間。
事業主体：丹波篠山市 まちづくり部 地域計画課



県立篠山産業高校による実習の様子。生徒の熱心な質問により現場が賑わった。



丹波篠山の家
モデルハウス
竣工



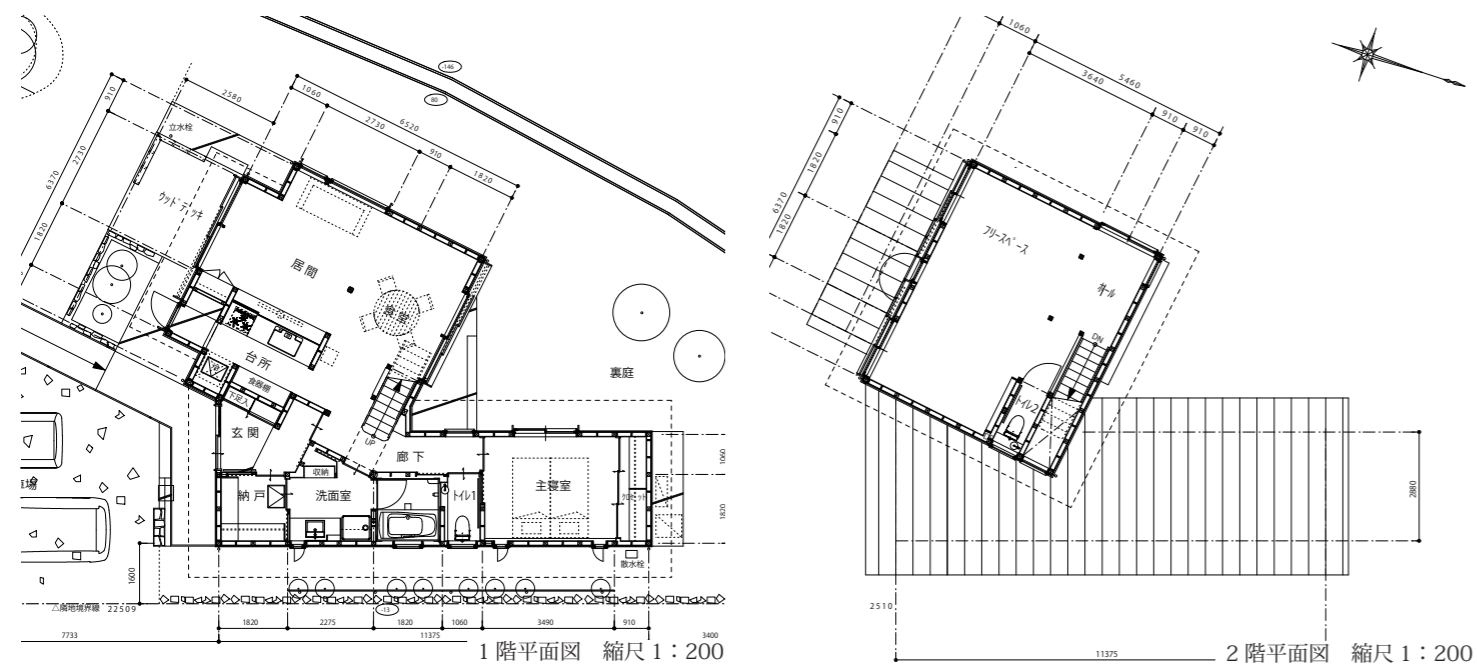
丹波篠山市



広々とした居間の床や柱には丹波篠山産木材を使用し、壁・天井は漆喰塗り。キッチンカウンターの天板には丹波篠山市の木である桜を採用。珍しい木目を楽しむことができる。



丹波篠山の里山
田園と調和し、
快適で長く住み
続けられる木の
家づくり



丹波篠山の気候風土・文化の中で育まれた歴史情緒あふれる町並み、田園景観と調和した農村集落は地域ごとに特色ある景観を生み出しており、大きな魅力となっています。

しかし、近年では地域性に関係なく全国的に同じようなデザインの住宅が増え、地域の個性が失われることや、町並み景観への影響が懸念されます。

そこで、丹波篠山の気候風土・文化に合った健康的で住みよい住宅を普及し、地域の住文化の継承や、良好な町並みを形成するため、意匠や色彩、材料などの基準（丹波篠山の家認定基準）を定め、実際に基準を形にしてイメージできるよう「丹波篠山の家」モデルハウスを新築しました。

屋根は切妻・和瓦葺き、外壁の仕上

げは漆喰や焼杉板とし、丹波篠山の伝統的な建築手法を用いました。柱や梁などの構造材のほか、天井や床、ウッドデッキなどにも丹波篠山産木材を使用しています。玄関へ向かうエントランスは扉に丹波鉄平石、スロープなどの土間に丹波三和土、トイレには日本六古窯の一つである丹波焼を手洗器として採用し、丹波篠山ブランドを数多く取り入れています。設計・施工・監理はそれぞれ市内業者が執り行い、建物の各所に丹波篠山の人々の力が凝縮された丹波篠山らしいモデルハウスとなりました。

また、モデルハウス建築中は県立篠山産業高等学校の生徒の実習に使用され、丹波篠山の未来を担う子供達の学びの場としても活用されました。



1階・2階のトイレには丹波焼を手洗器に使用した。



エントランスの扉には丹波鉄平石(左)、土間には丹波三和土(右)を使用した。



2階は仕切りを設けず、使い方に応じて間仕切りできる構造とした。



洗面室には丹波篠山産木材を使用し、家族全員が毎日丹波篠山に触れられる意匠とした。



開放感のある階段やトイレにも丹波篠山産木材を使用した。